



2023年5月12日

各位

会 社 名 株式会社グリーンズ
代 表 者 名 代表取締役社長 村木 雄哉
(コード6547 東証スタンダード・名証プレミア)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 伊藤 浩也
(TEL. 059-351-5593)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日付で開示いたしました「2023年6月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、2021年3月26日付の「シンジケートローンおよび資本的劣後ローン契約締結に関するお知らせ」にてお知らせしておりますとおり、新型コロナウイルス感染症による業績影響に対する資金面の対応として、既存契約の借換えを含む総額17,500百万円(うち3,000百万円は資本的劣後ローン)のシンジケートローン契約を締結いたしました。当該契約の返済期日が2023年3月に到来することから、借入金の返済等の資金繰りに懸念が生じ、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる状況が存在しておりました。

当社グループは当該状況の解消に向け、感染防止対策と社会経済活動の再開の両立の動きにより正常化が進む国内需要に対し、各店舗地域の動向に合わせたレベニューマネジメントの強化、効率的な店舗運営、自治体に対する一棟貸し、また2022年10月以降の各地域の全国旅行支援への対応や販促強化の結果、2023年6月期第3四半期において、売上高26,891百万円、営業利益2,856百万円、経常利益2,690百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益2,419百万円を計上いたしました。

このような経営状況、業績推移、また今後の見通しを踏まえ、金融機関との協議の結果、2023年3月28日の「シンジケートローン契約の更新に関するお知らせ」にてお知らせしておりますとおり、返済期日が2023年3月に到来するシンジケートローン契約について、契約金額及び最終返済期日の見直しを含む総額13,000百万円(うち3,000百万円は資本的劣後ローン)にて契約を更新したことで、借入金の返済等の資金繰りの懸念が解消いたしました。

上記を踏まえ、当社グループでは、当第3四半期連結会計期間末において継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる状況は解消したと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしました。

株主、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様には、大変ご心配をおかけしておりますが、2030年の経営ビジョン実現に向けさらなる業績及び企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上